

特別企画：第9回 兵庫県の菓子メーカー90社の経営実態調査

75%が黒字企業

— 増収企業は22%にとどまる —

はじめに

帝国データバンク神戸支店では、2020年1月時点の企業概要データベース「COSMOS2」（147万社収録）の中から、2018年度（2018年4月期～2019年3月期）の売上高が判明した兵庫県内に本店を置く菓子メーカー90社（売上高1億円以上、一部推定値含む）を対象に、売上高総額の推移、売上高規模別比較、損益状況、業歴別、地区別に分析した。同調査は2019年2月に続き9回目。

調査結果（要旨）

1. 兵庫県の菓子メーカー90社（売上高1億円以上）における2018年度の売上高総額は1725億6200万円で、前年度（93社・1760億4700万円）より2.0%の減少となった。
3期連続で比較可能な売上高が判明した88社のうち「増収」となった企業は20社（構成比22.7%）、「2期連続増収」となった企業は12社（同13.6%）となった。
2. 売上高規模別では、売上高100億円以上の企業は前年度と同じ4社となった。
3. 2017年度と2018年度の損益が判明した37社のうち、2018年度「黒字」企業は28社（構成比75.7%）、うち「2期連続黒字」となった企業は24社（同64.9%）。「赤字」企業は9社（同24.3%）で、うち「2期連続赤字」は4社（同10.8%）となった。
4. 業歴別では「100年以上」が13社（構成比14.4%）、「50年以上100年未満」が38社（同42.2%）と、歴史の古い老舗企業が過半数を占める。
5. 地区別では「神戸地区」が社数、売上高合計ともに依然として最多となっている。

1. 売上高総額推移 — 増収企業は22.7%

兵庫県内に本店を置く菓子メーカー90社（売上高1億円以上）の2018年度売上高総額は1725億6200万円。前年度（93社・1760億4700万円）より34億8500万円（2.0%）の減少となった。

	対象 社数	売上高総額 (百万円)	前年度比 (%)
2016年度	87	172,767	▲ 5.6
2017年度	93	176,047	1.9
2018年度	90	172,562	▲ 2.0

3期連続で比較可能な売上高が判明している88社において、2018年度「増収」となった企業は20社（構成比22.7%）で、前年度（27社・同33.8%）より7社の減少となった。このうち「2期連続増収」となった企業は12社（同13.6%）で、前年度（12社・同15.0%）と同数となった。

2018年度 売上高	社数	構成比 (%)
増 収	20	22.7
2期連続増収	12	13.6
減 収	19	21.6
2期連続減収	4	4.5
横ばい	49	55.7
合 計	88	100.0

一方、「減収」となった企業は19社（同21.6%）で、前年度（31社・同38.8%）より12社の減少となった。このうち「2期連続減収」となった企業は4社（同4.5%）で、前年度（9社・同11.3%）より5社の減少となった。

2. 売上高規模別 — 売上高100億円以上は前年と同じ4社

90社の2018年度売上高をみると「1億円以上10億円未満」が66社で、構成比は73.3%と大半を占める。次いで「10億円以上50億円未満」が17社（同18.9%）、「50億円以上100億円未満」が3社（同3.3%）、「100億円以上」が4社（同4.4%）であった。

2018年度売上高	社数	構成比 (%)
1億円以上10億円未満	66	73.3
10億円以上50億円未満	17	18.9
50億円以上100億円未満	3	3.3
100億円以上	4	4.4
合 計	90	100.0

なお、「50億円以上100億円未満」が前年度（4社）より1社減少しているのは、(株)ケーニヒススローネ（神戸市中央区）の売上高が48億円となったため。

3. 損益状況 — 75%が黒字企業

90社のうち2017年度と2018年度決算の損益状況が判明した37社において、2018年度「黒字」だった企業は28社（構成比75.7%）で、前年度（28社・同73.7%）と同数となった。このうち「2期連続黒字」となったのは24社（同64.9%）で、前年度（26社・同68.4%）を下回った。

一方、赤字企業は9社（同24.3%）で、前年度（10社・同26.3%）より減少した。このうち「2期連続赤字」は4社（同10.8%）で、前年度（6社・同15.8%）より減少している。

全体の75%が黒字を確保し、堅調な収益状況の企業が多いが、10%が2期連続赤字と苦戦している状況もある。

2018年度損益	社数	構成比 (%)
黒 字	28	75.7
2期連続黒字	24	64.9
赤 字	9	24.3
2期連続赤字	4	10.8
合 計	37	100.0

4. 業歴別 — 業歴30年以上の老舗が70%以上

90社を業歴別でみると、「50年以上100年未満」が38社（構成比42.2%）と最も多く、「10年以上30年未満」が21社（同23.3%）、「30年以上50年未満」が14社（同15.6%）、「100年以上」が13社（同14.4%）となった。業歴30年以上の老舗企業が65社（同72.2%）で、全体の70%を超える。

業 歴	社数	構成比 (%)
10年未満	4	4.4
10年以上30年未満	21	23.3
30年以上50年未満	14	15.6
50年以上100年未満	38	42.2
100年以上	13	14.4
合 計	90	100.0

5. 地区別 — 社数・売上高とも「神戸地区」がトップ

90社を地区別でみると、「神戸地区」が35社（構成比38.9%）、2位「播磨地区」（同27.8%）、3位「阪神地区」（同22.2%）の順位に変化はなかった。

また、2018年度の地区別売上高合計では、「神戸地区」が929億4900万円（構成比53.9%）と依然過半数を占めている。次いで「阪神地区」が416億6800万円（同24.1%）、「播磨地区」が301億5700万円（同17.5%）となった。

なお、売上高合計の構成比では「神戸地区」が前年度比1.1ポイント減、「阪神地区」が同0.9ポイント増、「播磨地区」が同0.3ポイント増となった。

地 区	社数		2018年度 売上高合計 (百万円)	構成比 (%)
		構成比 (%)		
神戸地区	35	38.9	92,949	53.9
阪神地区	20	22.2	41,668	24.1
播磨地区	25	27.8	30,157	17.5
丹波地区	1	1.1	196	0.1
但馬地区	7	7.8	6,381	3.7
淡路地区	2	2.2	1,211	0.7
合 計	90	100.0	172,562	100.0

6. 売上高上位 30 社 — モロゾフが連続首位

2018 年度売上高順位は、1 位モロゾフ（株）（神戸市東灘区、295 億 4700 万円）、2 位（株）ユーハイム（神戸市中央区、285 億円）、3 位（株）エーデルワイス（尼崎市、160 億 2300 万円）、4 位（株）スタジオ・シュゼット（西宮市、105 億円）、5 位ハマダコンフェクト（株）（加古川市、95 億 6000 万円）となった。

前年度比 0.18%減収のモロゾフ（株）だが、前年度に引き続き（株）ユーハイムを抑え、首位を守った。9 位の（株）ケーニヒスクローネ（神戸市中央区）は前年の 7 位からダウン。10 位の丸中製菓（株）（加西市）は、（株）播磨屋本店（豊岡市）を抜き、トップ 10 入りとなった。

なお、新たにトップ 30 にランクインした企業は、（株）イナミ製菓（加古郡）、（株）栄伸堂（尼崎市）の 2 社。

順位	TDB 企業コード	商号	所在地	2018年度 売上高 (百万円)	主な製品・ブランド
1 (1)	530038405	モロゾフ(株)	神戸市東灘区	29,547	モロゾフ
2 (2)	530104331	(株)ユーハイム	神戸市中央区	28,500	ユーハイム
3 (3)	580272246	(株)エーデルワイス	尼崎市	16,023	アンテナール、ヴィタメール
4 (4)	694010800	(株)スタジオ・シュゼット	西宮市	10,500	アンリ・シャルパンティエ、シーキューブ
5 (5)	540076983	ハマダコンフェクト(株)	加古川市	9,560	ウエハース、クッキー
6 (6)	530083465	ゴンチャロフ製菓(株)	神戸市灘区	7,827	ゴンチャロフ
7 (8)	501032272	(株)スイートガーデン	神戸市西区	5,500	タカラブネ、スイートガーデン
8 (9)	540032085	(株)御座候	姫路市	4,934	御座候
9 (7)	530242759	(株)ケーニヒスクローネ	神戸市中央区	4,800	ケーニヒスクローネ
10 (11)	540098766	丸中製菓(株)	加西市	4,503	ドーナツ
11 (10)	540195213	(株)播磨屋本店	豊岡市	4,214	朝日あげ、はりま焼
12 (13)	540016312	小川食品(株)	姫路市	2,872	アイスクリーム用コーン
13 (14)	530444084	(株)シンケールス	神戸市東灘区	2,748	ファクトリーシン
14 (12)	580277064	(株)あみだ池大黒	西宮市	2,563	岩おこし、栗おこし、神戸クランチチョコレート
15 (15)	530495486	フランツ(株)	神戸市中央区	2,520	神戸フランツ
16 (16)	580056045	高岡食品工業(株)	尼崎市	2,418	タカオカチョコレート
17 (17)	580776743	(株)サザエ食品	西宮市	2,350	おはぎ
18 (18)	580131382	三和紙器(株)	尼崎市	2,047	ドーナツ店FC
19 (19)	530419681	(株)マキイズ	神戸市灘区	1,850	マキイズ
20 (19)	581736733	(有)ツマガリ	西宮市	1,700	ツマガリ
21 (21)	540205571	オガワ食品協業組合	姫路市	1,255	アイスクリーム用コーン
22 (23)	530533200	(株)多幸	淡路市	1,041	たこせんべい
23 (22)	530388520	(株)レーブドゥシェフ	神戸市垂水区	1,039	レーブドゥシェフ
24 (24)	530091931	(株)文明堂神戸店	神戸市兵庫区	1,000	カステラ
25 (25)	530161632	(有)ジヤーマン・ホーム・ベーカリー	神戸市中央区	942	フロインドリーブ
26 (28)	530356052	(有)ボツク	神戸市須磨区	750	ボックサン
27 (30)	507009594	(株)京都レマン	たつの市	739	シャーベット、アイスクリーム
28 (29)	540216350	常盤堂製菓(株)	姫路市	716	かりんとう
29 (31)	540387311	(株)イナミ製菓	加古郡	640	大福餅
30 (33)	580592245	(株)栄伸堂	尼崎市	620	ゼリー、わらび餅

※()内は前年順位

※一部推定値あり

7. まとめ

兵庫県の景況感は、米中貿易問題などを背景に急速に冷え込んでおり、昨年の消費税増税の影響もあって個人消費は低調な推移で回復への期待感は乏しいと言わざるを得ない。菓子メーカー各社にとっては、主戦場とする百貨店での販売が伸び悩むなか、駅ナカ、ネット通販などに活路を見出そうとする企業が増えつつあるほか、雑誌・テレビなどメディアへの露出や、インスタグラム・フェイスブックなどSNSを活用することで集客に繋げようとする動きが目立っている。

タピオカドリンクやかき氷、パンケーキなどSNSで“映える”がキーワードとなるなか、最も“映えた”のは、青森りんごを使った菓子店『à la ringo（あら、りんご。）』だ。『土佐清水ワールド』など飲食店を展開する（株）ワールド・ワン（神戸市中央区）が出店したもので、まずはSNSから火が付き、人気テレビ番組でも紹介されたことで、放送後は連日行列が絶えない。この一連の流れを考えると業界各社にとってSNSほかメディア戦略は、商品開発と並ぶ重要な経営課題と言えよう。そして、メディア戦略という意味で、ここ数年菓子業界を脅かし続けるのがコンビニスイーツの存在だ。有名パティシエとのコラボ商品や日本初上陸スイーツなどを手頃な価格で供給し続ける資本力に業界各社は苦戦を強いられている。

消費減退による需要の伸び悩み、コンビニスイーツや異業種からの参入業者との競合激化のほか、原材料価格の高騰や人件費の上昇なども業界各社を悩ませている。ここから先は、全国展開する有名“神戸ブランド”の洋菓子店や古都姫路の老舗和菓子店であったとしても、旧態依然のままの経営では生き残っていけない厳しい状況と言え、歴史と経験に裏打ちされた技術に、時代に則した新たなエッセンスを添えていくことが課題となるだろう。

【 内容に関する問い合わせ先 】

（株）帝国データバンク 神戸支店情報部 担当：松田

TEL 078-331-7024 FAX 078-393-2734

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。

当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。

著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。